育成委員会だより

あまぬま

令和８年
（2026）
７月１日
第９１号

天沼青少年育成委員会
発行責任者
五十嵐　恵子
印刷：タイヨー美術印刷株式会社

◆◆◆◆◆令和８年度　事業予定◆◆◆◆◆

第46回天沼地域少年野球大会



日時：11月29日（日）　場所：日本大学第二学園グラウンド

天沼少年野球クラブ　杉九少年野球部　日本大学第二中学校野球部　他

小学生・中学生対象事業

夏野菜収穫体験

日時：７月12日（日）９：30～

場所：志村農園（杉並区井草）

対象：小学５年生～中学生



ボウリング教室

日時：令和９年３月29日（月）９：00～

場所：荻窪ボウル

対象：小学４年生～中学生

※インストラクターによる、ボールの選び方、投げ方、マナーなどの指導があります。



小学生対象事業

お箸の知育教室

日時：令和９年１月17日（日）

場所：コミュニティふらっと本天沼

対象：小学３年生～６年生

※お箸の歴史やマナー、正しい持ち方などについて学び、My箸を作ります。



大根収穫体験

★12月中旬

場所：松原農園（杉並区清水）

対象：小学１年生～２年生

※清水森公園に集合して、松原さんの畑に移動します。たくさんの児童に参加していただきたいので、収穫は一人１本です。

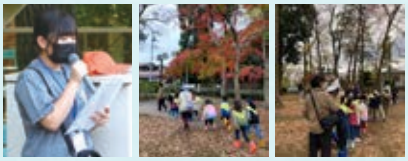


中学生・高校生のボランティア大募集

少年野球大会や大根の収穫体験など育成事業の運営のお手伝いをしてくださる中・高校生を募集しています。

●野球大会…開会式・閉会式の進行、試合アナウンス等

●大根収穫体験…受付、子どもたちの誘導



お箸の知育教室



１月18日(日)、コミュニティふらっと本天沼にて「お箸の知育教室」が開催されました。対象は小学３年生から６年生、午前19名・午後23名、あわせて42名の子どもたちが参加しました。

講師は、福井県にある箸専門メーカー株式会社兵左衛門東京支店の細井聡さん。

教室では、正しいお箸の持ち方をはじめ、やってはいけない箸の使い方について、クイズも交えながら分かりやすく教えていただきました。

続いて、My箸作り体験も行われました。自分の手に合ったサイズを測り、箸を切り、やすりで丸く整えた後、思い思いに色付けを行いました。

私も体験させていただきましたが、色塗りでは大人がじっくり悩む一方で、子どもたちは自由な発想で大胆に仕上げており、その表現の豊かさに驚かされました。

それぞれに個性が光る、世界に一つだけのお箸が完成しました。

普段何気なく使っているお箸について、楽しく学ぶ機会となりました。　（山内 加奈）

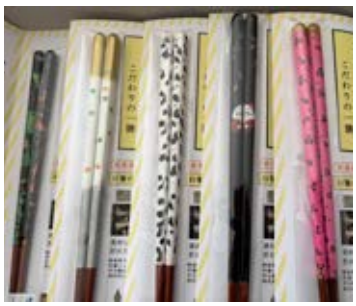














委員研修



スペースあすれちっく



わくわくデスク



デジタルきゃんぱす



１月26日(月)、足立区こども未来創造館ギャラクシティに委員７名で行きました。

ギャラクシティは、子どもたちが遊びながら学ぶことのできる体験型複合施設で、クライミングウォールや、巨大ネット遊具に加え、子どもの知的好奇心をくすぐる体験ブースや、ワークショップも開催されており、とても魅力的な施設でした。プラネタリウム以外は、無料で施設利用ができ、スタッフによるサポート体制も充実しており、安全面への配慮や利用者への丁寧な対応が印象的でした。

今回の研修を通して、子どもが主体的に学ぶ環境づくりの大切さや、単に設備を設置するだけでなく、利用者が安心して活動できるようなスタッフの見守り体制の重要性を学ぶことができました。

また、時間の区切りが細かく、ルールが多く感じられる部分もあり、利用者が窮屈に感じてしまわないか？等の意見もあり、運営を考える側としても勉強になりました。

杉並区でも、ゆう杉並や児童館など、子どもたちが遊んだり、活動したりする場所がもっと活用され、皆が利用しやすい居場所ができたら良いと改めて思いました。　（平野 紘子）

ボウリング教室













桜が満開に咲いた３月30日(月)、春休み中の小学４年生から中学３年生まで総勢29名が集まりました。

育成委員会主催の人気イベントのひとつボウリング教室は、今回で18 回目になります。

ボウリングがはじめての子も半分くらいいましたが、基本的なルールからボールの選び方、投げ方までインストラクターの望月さんが丁寧に教えてくれます。

１、２、３、４～のリズムに合わせてまずは歩く練習から。それに手の動きを合わせて１、２、３、４～！真剣な眼差しで実際に投げてみると、最初はなかなか思うようにいかない子もいっぱい。

一球一球投げる毎に一喜一憂する子どもたち。

惜しい！悔しい！次こそは！から倒れた！嬉しい！気持ちいい！の体験をし、また、もっと倒したい！の気持ちが高まります。

これを繰り返し体感できるのはボウリングの良さのひとつだなと感じます。

一球一球真剣に投げる姿と子どもたちの沢山の笑顔が見られました。

その日は、普段は見られないレーンの裏側も見せていただき、特別な１日になりました。　　（中村 朋美）













ボールをもどして

「あいさつ」がつくる地域

杉並区立杉並第九小学校校長　浅見　優子



今年度より杉並第九小学校校長に着任しました浅見優子です。育成委員会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

４月早々に６年生から声をかけられました。「今まで岩崎校長先生と朝のあいさつ運動をしてきました。良かったら浅見校長先生も一緒にやりませんか？」うれしい誘いに、「ぜひ参加します」と即答し、翌朝から桜門に立ち、「おはようございます！」とあいさつをしています。現在は代表委員も加わり、にぎやかにあいさつ運動をしています。

子どもたちは８時20分ごろには教室に引き上げてしまいますが、まだ登校するお子さんがいますので、そのまま桜門に立っていますと、東原中学校に登校する中学生、お子さんを保育園に送っていく方、犬の散歩をされる方、これから仕事に向かう方等、大勢の方が通り過ぎます。勇気を出して「おはようございます」とあいさつをすると、うれしいことに会釈をしてくださる方、「おはようございます」とあいさつを返してくださる方がおり、地域の温かさを感じています。

「あいさつ」は、短い言葉ですが、人と人との心をつなぐ大切な力をもっています。「あなたのことを見ていますよ」「大切に思っていますよ」という気持ちが、その言葉の中に込められているのだと思います。子どもたちは、登下校中に地域の方から笑顔であいさつをしてもらうことで、自分が地域に見守られていることを実感し、地域に愛着をもちます。そして、自分も誰かに優しく接しようという気持ちが育っていくと期待しています。

一方、近年は人との関わりが少なくなり、「知らない人とは話をしない」という意識も強くなっています。防犯上、大切なことでもありますが、地域の中で安心して交わせるあいさつや声かけは、子どもたちの心を育てる大切な機会であると感じます。また、私たち大人も率先して声をかけることで、地域の雰囲気を明るくすることができます。忙しい毎日の中でも、立ち止まって「おはようございます」「気をつけてね」と声をかけることが子どもを育て、地域全体の安全・安心にもつながります。

子どもたちが安心して暮らせる地域は、大人にとっても温かな地域です。これからも地域全体であいさつを大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていただくことができればと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

令和７年度地域共催事業報告

杉九小居場所事業すぎくラブ

★みんなの夏休み！～かがやけ！６人組大作戦
令和７年７月26日(土)杉九小体育館・学童クラブ室　参加者 82 名

★すぎくラブ秋祭り
令和７年11月22日(土)杉九小体育館・学童クラブ室　参加者 353 名

天沼小学校地域子育てネットワーク事業

★たのしさバクハツ！天沼まつり
令和７年10月13日(月・祝)天沼小アリーナ　参加者 509 名

天沼小学校 PTA

★１年生対象防犯教室
令和７年９月27日(土)天沼小アリーナ　参加者 57 名

★高学年対象防犯教室
令和７年11月19日(水)天沼小アリーナ　参加者 68 名

杉並第九小学校 PTA

★2025 杉九まつり
令和７年10月18日(土)杉九小校庭、体育館　参加者 1,036 名

東原中学校 PTA

★菜園再生プロジェクト
令和７年４月～令和８年３月　東原中学校第三校舎裏庭　参加者 78 名

大根収穫体験中止

令和７年12月に予定していた大根収穫体験は大根が育たなかったため中止しました。

天沼青少年育成委員会構成メンバー（令和８年度　42 名）

保護司	１名
民生児童委員	２名
主任児童委員	１名
青少年委員	２名
地域協力者	18名
杉並第九小学校(校長先生・PTA)	２名
天沼小学校　(　〃　)	３名
天沼中学校　(　〃　)	２名
東原中学校　(　〃　)	２名
日本大学第二中学校校長先生	１名
日本大学第二高等学校校長先生	１名
日本大学第二学園(理事長・総務)	３名
天沼児童館　館長	１名
杉九学童クラブ・すぎくラブ　クラブ長	１名
子ども・子育てプラザ天沼　所長	１名
子ども・子育てプラザ下井草　所長	１名

長年ご尽力いただいた方を含め、６名の委員が退任しました。
長い間、ありがとうございました。

当育成委員会のホームページがあります。こちらからご覧ください。➡

編集担当：佐藤・広瀬・成田